

# SDGs Karuta

in

# Rwanda

2021年度徳島市応神中学校2年生が作成したSDGsカルタをもとに  
「SDGsセンター・アフリカ」が置かれているルワンダ共和国の紹介をします。

SDGsとは、2015年9月25日に国連総会で採択された

持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals) のことで

2030年までに達成されるべき目標が具体的に示されています。

国連に加盟する193か国すべてが「世界共通の目標として取り組むべき」と認めた目標でもあります。

同じ目標に向かって歩む「仲間」を紹介するつもりで作りました。

世界にはどんな国があるのか、知るきっかけに。

日本だからこそできることは何か、考えるきっかけに。

日本とルワンダの共通点やちがいを楽しんでいただければ幸いです。

あかると おもったときは でんきをけそう

When you don't need, let's turn off the light.

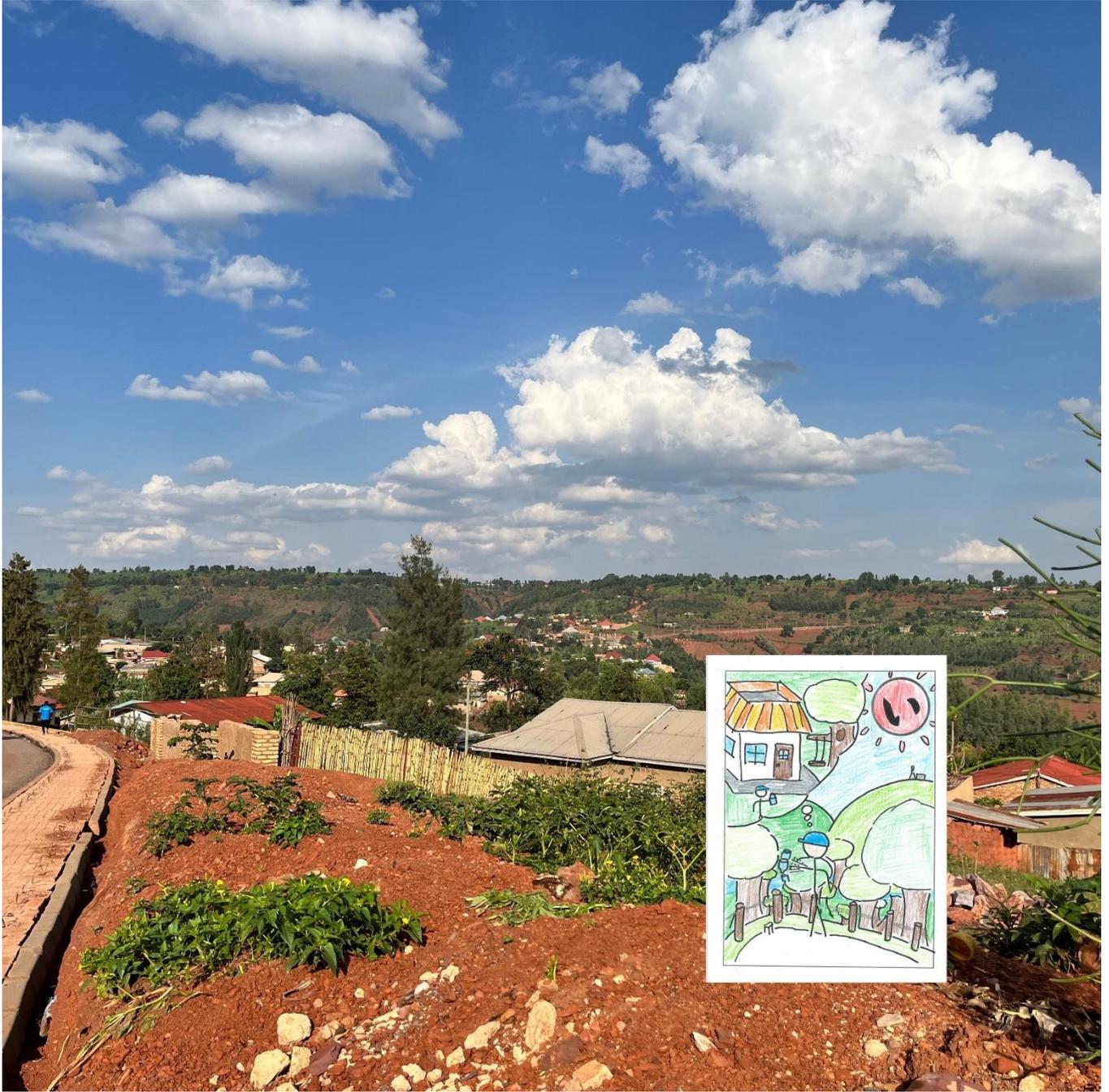


この写真は、ルワンダの公立中学校（小学校や高校を併設・1500人以上が通う）で撮影されました。  
天井を見ると、電球がついていません。その代わりに、窓が大きくつくりられています。  
なぜ、電球がついていないのでしょうか。

あなたの知っている「教室」と比べて、同じところはどこかな。ちがうところはどこかな。

# いえで すてよう ごみくらい

Bring your trash to home. Don't throw it away outside.



この写真は、私が暮らすルワンダ共和国・東部県・ンゴマ郡で撮影されました。

ンゴマで生活を始めて3か月。まだごみの回収をしてくれる会社を見つけられていません。同じ東部県でも、首都近くにあるルワマガナ郡では、個人経営の会社が有料で引き取ってくれるそうです(ただし、分別はしないそうです)。

首都・キガリでは、家の前にごみを出しておくで、有料で回収してくれるシステムがあり、燃えるごみと燃えないゴミに分別します。

家でごみが捨てられる「あたりまえ」は、「日本のあたりまえ」だと知りました。

# うみや かわ あそんだあとを よごさない

Keep the ocean clean, keep the river clean.



この地図は在ルワンダ日本国大使館のウェブページから引用しました。

ルワンダは、東はタンザニア、西はコンゴ民主共和国、北はウガンダ、南はブルンジと隣接する内陸国（海に面していない国）です。アフリカ大陸のほぼ中央に位置します（区分では、東アフリカに属しています）。

火山の力で大陸プレートが切り離されてできたアルバーティーン地溝帯の中央に位置しており、6つの火山、23の湖と多数の河川があります。

島国・日本と比べてみよう。どこが同じ？どこがちがう？

（私は、四国と比べてみました。どことなく似た形に、とても親近感をもっています。大きさは四国の約1.4倍です。）

エコバッグ もって かいもの れっつごー!

Let's go shopping with eco bags!



この写真は、ルワンダのエコバッグを撮影したものです。鮮やかな色と特徴的な柄が目を惹きます。

この布は「キテンゲ」と呼ばれ、普段着・晴れ着・小物など、さまざまな用途で使われています。マーケットでお気に入りのエコバッグを探すもよし。気に入った布ごと買ってオーダーメイドで作ってもらうもよし。

ちなみに、左はコーペラと呼ばれる施設（日本でいう生協）で作られたものです。売り上げは、そこで働く人のために使われます。右は、気に入ったキテンゲ（6ヤード）を買って、取っ手の長さやポケットの位置などを決めて、オーダーメイドで作ってもらいました。「ウムドジ」と呼ばれる仕立て屋さんが丁寧に作ってくれます。

あなたはどんなエコバッグを使っていますか。

おおきなき まもっていこう いつまでも

Save big trees, save the earth.



この写真は、私の勤めるセカンダリースクール（日本でいう中学校・高校）で撮影されたものです。  
この薪は何に使うのでしょうか。大きなはしごもありますね。

【答え】

この薪は、給食を作るときに使います。

大きなはしごは、電気配線を直すときや校内で育てているアボカドやイビトーチ（甘くないバナナ）を収穫するときに使っています。給食の様子は、「つ」「に」「の」の札で、さらにくわしく紹介します。

## かったものを ちゃんとつかおう さいごまで

Don't throw away easily. You can use it as long as you want.



この写真は、家から勤務先の学校へ行く途中で撮影されたものです。

ルワンダでは、はだしの人はあまり見かけませんが、大人・子ども関係なく、スリッパを履いている人をよく見かけます。自分の足よりずいぶん大きなスリッパをはいた子ども、制服を着ているけど足元はスリッパの子ども、舗装されていない道を片道1時間半（徒歩）かけて通勤する大人、火を扱う仕事の人、、、性別や職業を問わずスリッパをはいています。（もちろん、運動靴や革靴を履いている人もいますよ。）こんなに大きな穴が空くまで、履きつぶしたんですね。

日本では、上履き、外履き、体育館シューズ、、、学校だけでも様々な履物を使っています。

あなたがいつも履いている靴は、どことなくつですか。比べてみましょう。

# きをきると ちきゅうのみどり きえていく

If you cut trees, the earth will lose "GREEN."



この写真は、ルワンダ・北部県のギチュンビで2022年9月23日に撮影されました。日本では春に咲くタンポポ。季節のちがいを感じつつ、日本と同じ花が咲いていることが嬉しく、シャッターを切りました。

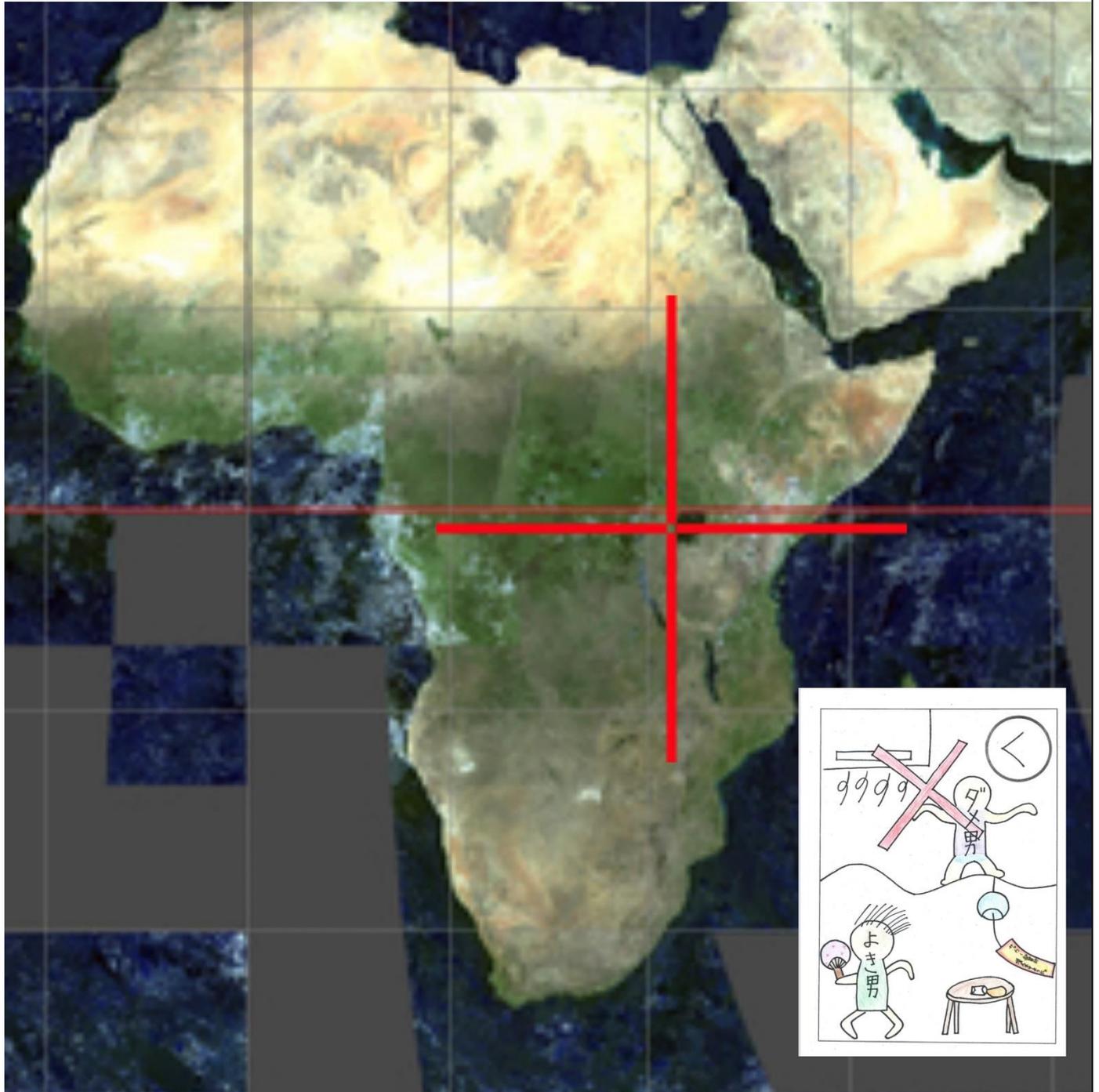
ルワンダは赤道直下に位置するため、四季がありません。乾季と雨季があります。標高が高いので、平均気温は年間を通じて24~27度ほどです。湿度は低く、日本の夏よりも快適に過ごすことができます。

北部は、他の地域よりもさらに標高が高く、気温が10度を下回ることがあります。そのため、マーケットでは暖かい毛布や布団、ダウンジャケットなどが売られています。まるで、日本の冬支度を見ているようです。

背の低いこのタンポポを見て、日本の在来種「カンサイタンポポ」を思い出しました。

## クーラーと うちわのちがい 「て」をつかう

Air-conditioner needs electricity. Uchiwa needs your hand only.



この地図は、「地理@沼津高専」の「ウェブ地図で緯度・経度を求める」ウェブページから引用しました。アフリカ大陸を上下半分に分けている赤い線が赤道、左に見える少し太い灰色の縦線が本初子午線です。ルワンダの首都・キガリの位置を、大きな赤い十字で表しています。この緯度・経度はどのくらいでしょうか。

【答え】東経30度・南緯1度に位置しています。

赤道直下に位置していますが、国の平均標高が1600mであるため、年間を通じて穏やかな気候に恵まれています。ルワンダに来て3ヶ月経ちますが、まだクーラーを見たことがありません。必要ない（上に、高価）のです。

日本に暮らしているからクーラーやうちわが「当たり前」だったと、気づくことができました。

# げんきよく あいさつすると きもちいい

Say "Ohayo!" Greetings make people happy.



この写真は、ルワンダに来て5日目に撮影されたものです。教会の前を歩いていると、大学生やその同世代の若者が太鼓の練習をしていました。覚えたての現地語「キニヤルワンダ語」であいさつをすると、「一緒にやろう!」と誘ってくれ、演奏後に記念撮影をしました。

ルワンダの公用語は、4つ。キニヤルワンダ語、フランス語、英語、スワヒリ語です(中学校では、4つの言語すべてを習います。)。英語が話せる人とは英語で、キニヤルワンダ語しか話せない人とは身振り手振りで会話を楽しみました。言葉が分からなくても、音楽を通して一体感を感じることができました。音楽のちからって、すごいですね。

ルワンダでは、道を歩いていると、初対面でも、「元気?」「どこへ行くの?」と気さくに声をかけてくれます。知り合いや、長く会話を楽しみたい場合は、握手をして会話を始めます。挨拶の音が飛び交うところが、応神町内や応神中学校の廊下のように。ルワンダの人から、そして応神中学校で過ごした思い出から、元気をもらう大好きな時間です。

# ごみばこに きちんとごみを すてましょう

Use the trash bin.



この写真は、町のごみ箱を撮影したものです。どんな分類になっているでしょうか。

さらによく観察してみると、中国語の表記が見られます。首都・キガリには中華スーパーがいくつもあり、中国人も多く住んでいます。アジア人を見かけることが珍しいワンダでは、「アジア人=中国人」と思われ、「你好」（ニーハオ）」と声をかけられることが、たびたびあります。あなただったら、どう返しますか？

私の場合は、「中国人じゃないよ。日本人だよ。」「日本語では、こんにちは、だよ!」と話しています。でも、相手が遠くにいるときもあるので、そのまま「你好」と返しているときもあります。

学校では、中学生から「中国と日本のちがいを教えて!」と聞かれました。あなただったら、どう答えますか。

さいりょう できるものから はじめよう

Let's "Re" USE!



この写真は、小売店や軽食店が立ち並ぶ通りで撮影されました。これは何でしょう？

そう! 空き瓶です。Fanta (シトロン味、パイナップル味が多い) やアルコールなど、さまざまな種類の飲み物の瓶がリサイクルされています。私の知っているルワンダの人の多くが、栓抜きがなくても、栓を抜くことができます。机の角で、他の瓶で、歯で、、、私もできるようになりたい!

もちろん、ペットボトルの Fanta を買うこともできますよ。あなたなら、どちらを選びますか? その理由は?

しょくひんを すてるのやめよう ちきゅうのために

Don't throw food away.



この写真は、ルワンダ・ビュッフェの様子です。

ルワンダでは、定食ではなく、ビュッフェ形式でランチを提供しているレストランが多くあります、左から、アガトゴ（ルワンダ風シチュー）、ポテトのチップス（揚げポテト・ルワンダの主要農作物・とってもおいしいです）、ブロシエツト（串焼きのこと・魚やヤギ、牛などがある）、ソース、イビトーチ（甘くないバナナ）、キャッサバ、米が並んでいます。

「おかわり禁止」がマナー。多くの人が、お皿いっぱい盛りに盛ります。

「おかわり自由」「食べ残し禁止」という日本のビュッフェや食べ放題とは、異なるシステムです。

## スマホのきゅうけい めのきゅうけい

If you save the time for smartphones, you can save the electricity.

You also save your eyes.



この写真は、私の家の電気メーターです。

ルワンダでは、モバイルマネーが普及しており、電気や水道の料金、通信費を電子マネーで支払うことができます。プリペイド式といって、買った分だけ使うことができ、残量が「0kWh」になると、ピーピーと音が鳴ります。この音を聞かない日はありません。この音の数だけ、電気を買うだけのお金をもたない家庭があるのだと感じています。

あなたは、月にいくら電気代を払っていますか。どのくらい電気を使っていますか。何に使っていますか。

(私は、日本でなんとなく節電はしていましたが、具体的な値段や使用電気を気にしていませんでした。途上国・ルワンダに来て、お金と電気の使い方に鈍感だった自分に気づきました。)

ぜんいんが たのしくうける きょういくを

Everyone has the right of education.

Everyone can enjoy learning.

What do we need?



この写真は、北部県・ギチュンビにある職業訓練校で撮影されました。この日は長期休み中でしたが、料理コースに在籍する生徒のうち4名が登校していました。ゲスト・ティーチャーとして、「サイエンス・キッチン」と題し、台所で使える理科の知識を伝授しました。

★割らずにゆで卵と生卵を見分けることができるかな？(タンパク質の熱変性)

★みかんの皮で油汚れが落としてみよう!

など

写真に写るえんじ色のセーターを着た男性も生徒です。36歳。奥さんと子供がいて、仕事をしながら学費を払って、学校に通っています。今の収入での生活はとても厳しく、家族を支えるために「手に職をつけたい」と一生懸命勉強をしていました。彼が話せるのはキニヤルワング語のみ。私の講義は、すべて英語で行いました。どうなったでしょう？

両脇に座っている18歳前後の生徒が通訳をして、一緒に勉強できるようにサポートしてくれました。

あなたの考える「全員」ってだれのこと？ どうやったら「全員」で学べる？

# そとにでて しぜんのかうきを あじわおう

Go outside! You can be relaxed.



この写真は、私の家の近くの眺めです。左下に見える大きな葉っぱは、バナナの木です。

ルワンダは、「千の丘の国」とも呼ばれ、緑豊かな丘陵が連なった国です。国内のどの地域へ行っても、このような見晴らしの良い風景を楽しむことができます。

東部にはサバンナ、平原、湿地帯があったり、西部には絶滅危惧種のマウンテンゴリラ（霊長類最大・ルワンダとコンゴにしか生息しない・日本の動物園では見られない）が生息していたり、と豊かな自然を満喫することができます。

## たいせつに ものはかったら さいごまで

Treat items carefully, now you can keep using them for many years.



この写真は、水を運ぶときに使うジェリカンを撮影したものです。

みなさんの使っている B5 サイズのノートと比べると、大体のサイズ感が分かるでしょうか。

水道が普及しつつあるルワンダですが、今でも多くの方が井戸（ポンプ）や公共水栓を使って水を運んでいます。学校が始まる前や放課後、町を歩いていると、小学生くらいの子もこのジェリカンで水を運んでいる姿をよく見ます。

飲み水はもちろん、手洗い、シャワー、料理、食器洗い、洗濯、掃除、、、あらゆる場面で必要な水。

「4人兄弟は多くないよ～」というルワンダ。大家族が暮らすためには一日に何回も水を運ばなくてはなりません。あなたが水を使っている場面を思い出してみよう。その時使った水は、どのくらいの量だろう？

ちょっとまって もうつかえない？ かんがえて

Wait! You can use it!



この写真は、学校の花壇の様子を撮影したものです。

穴が開いたり、割れてしまったりしたジェリカン、水を運ぶという役目は終わってしまいます。

この学校では、壊れたジェリカン、プランターとしてリサイクルしています。用途を変えれば、まだまだ使える！

「(元)ジェリカン探し」をテーマに町歩きをすると、人々の工夫を発見することができます。

徳島県・上勝町にあるゼロ・ウェイストセンターの方からお話を伺ったことがあります。「ごみは主観なんです。「要らない」と思う人にとってはごみ、「要る」と思う人にとってはごみじゃないんですよ。」と教えていただきました。

まだまだ使えるこのジェリカン。ごみじゃないようですね。

つくりすぎ そんだけつくって くれるんか♡

You cooked too much. Can you eat all of them?



この写真は、学校の給食室の給食室を撮影したものです。生徒と教職員合わせて約200名の昼食です。

この日のメニューは、キャッサバ。生徒たちは、朝から「今日はキャッサバよー!」とお喜びでした。

あなたの好きな給食のメニューは何ですか？

大きななたを使って、食べやすいサイズに切り、皮をむいていきます。ルワンダでは、まな板は売られていますが、あまり使いません。このキャッサバ、学校で栽培されています。大きな鍋で蒸すだけのシンプルな調理法。

作りすぎて余ってしまうこともありますが、皮も食べ残しもすべて土に還り、ほかの作物が育つ栄養分になります。

## でんきはね つかわないとき すぐけそう

When you don't need, let's turn off the light.



この写真は、学校の教室前で撮影されました。これは、何でしょう？

なんと、学校のチャイムです！ タイヤのホイールを木にくくりつけています。もちろん手動で、電気を使いません。

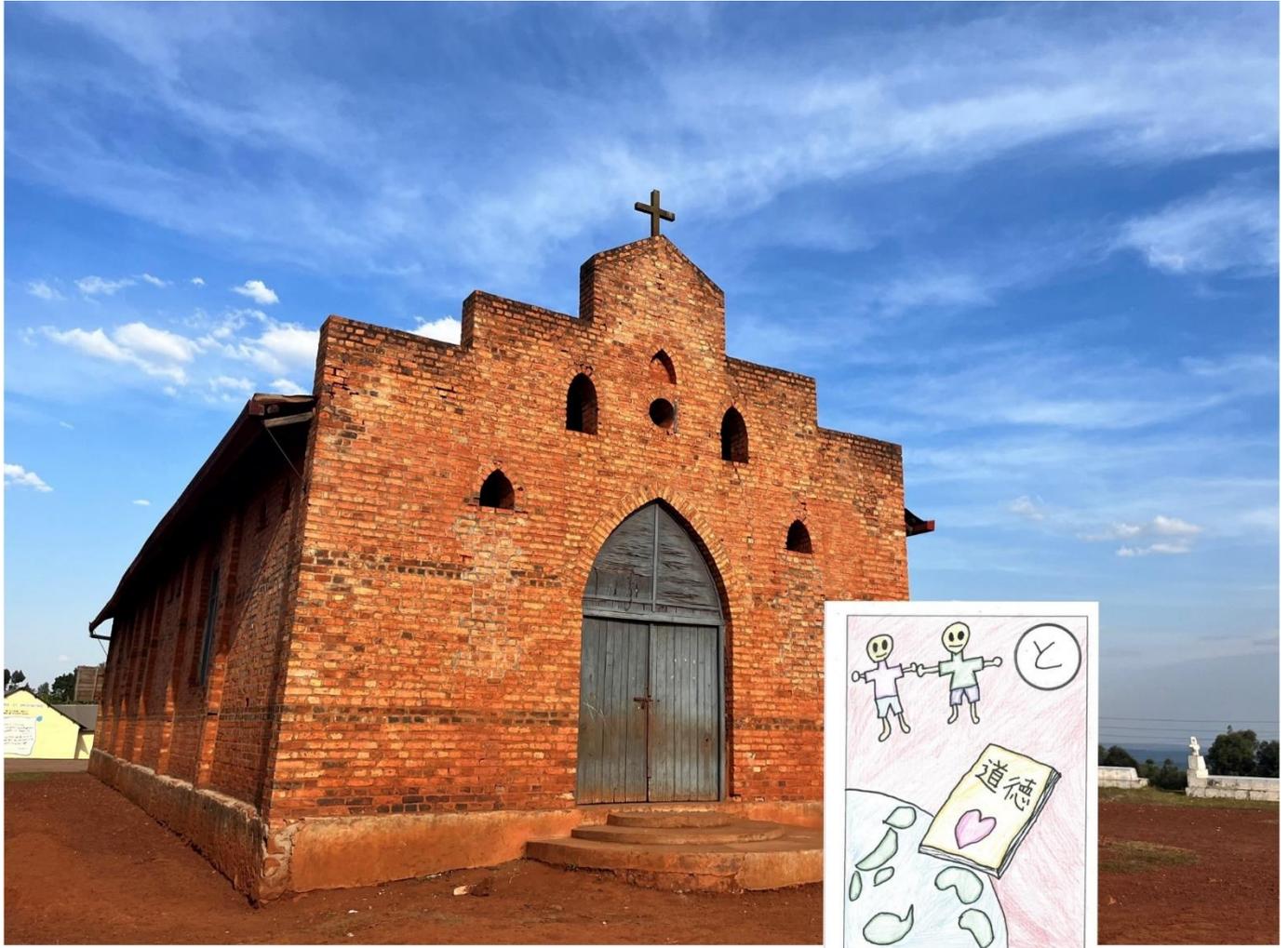
私の学校では、朝6時40分から全校朝会が、7時から授業が始まります。40分×10コマ（行間休みは2回あり、それ以外の休み時間はありません）が終わったら、14時過ぎにやっと給食です。休み時間開始を知らせるチャイム、給食を知らせるチャイムが鳴ると、和気あいあいと教室の外へ出てきます。

（日本の学生とそっくりの反応で、いつもにっこりしてしまう瞬間です。）

あなたの学校のチャイムは、どんなチャイムですか。動力は何でしょうか。

# どうとくを まなべるきかいを たいせつに

Moral Education is very important.



この写真は、教会を撮影したものです。私の勤める学校は、基督教の教会が支援している私立学校です。土曜日になると、生徒たちは、教会に集まって2～3時間お祈りをしています。学校には【道徳 (Moral Education)】に相当する教科がありませんが、教会でお互いの意見を伝えあったり、正しいことは何かを一緒に考えたりしています。

教会に近づくと、ゴスペルと呼ばれる歌が、聞こえてきます。マイクや楽器、時にはミキサーを使って、大音量で盛り上がっています。職員室でも、だれか一人がゴスペルを口ずさめば、そこにいる先生たちが合唱(とても上手です)をはじめ、一体感が生まれます。歌詞カードがなくても、たくさんの曲を頭で覚えているので、カラオケ要らずです。

教会へ行くことを楽しみにしている人がたくさんいる理由が、肌でわかりました。

(先日、隣の席の先生が聖書のアプリを見せてくれました。聖書もデジタルの時代とは、びっくりです。でも納得。)

## なつになり うちわをつかうと えこになる

It's too hot in summer, use uchiwa to keep you cool.



この写真は、私の学校の教頭先生・Ericが SDGs カルタを見てくれている様子を撮影したものです。

「日本の中学生が作った」と聞いて、興味津々!「聞いたことあるけど、詳しくは知らないなあ。」と言っていたEric。カルタの絵札から想像して、その札が伝えたいメッセージを予想していました。絵を見てもクーラーもうちわも見たことがない、「夏」という季節も名前しかわからない、でも一枚一枚丁寧に見てくれました。

途中で、取り出したのはスマートフォン。Google 翻訳の「日本語⇄フランス語(フランス語はルワンダの公用語の一つです)」の機能を駆使して、「ああ、そういうことか!」と納得。(私は、英語もフランス語も堪能なEricにびっくり。)

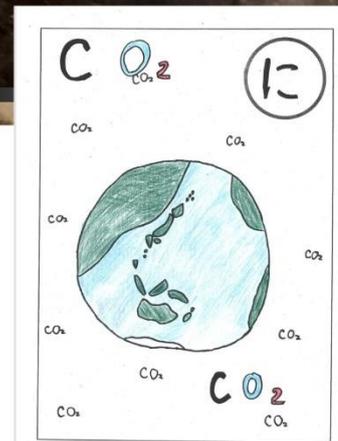
「カルタのおかげでSDGsについてわかったよ!」

そう言って、職員室の電気がついていれば、毎回電気を消して、カーテンを開けてくれるようになりました。

遠く海を越えて、1人の行動を変えましたね。

# にさんかたんそ へらしてまもる ぼくらのちきゅう

To save the earth, let's reduce CO<sub>2</sub>.



この写真は、給食室の厨房で撮影された写真です。もうお気づきですね、給食を作っています。

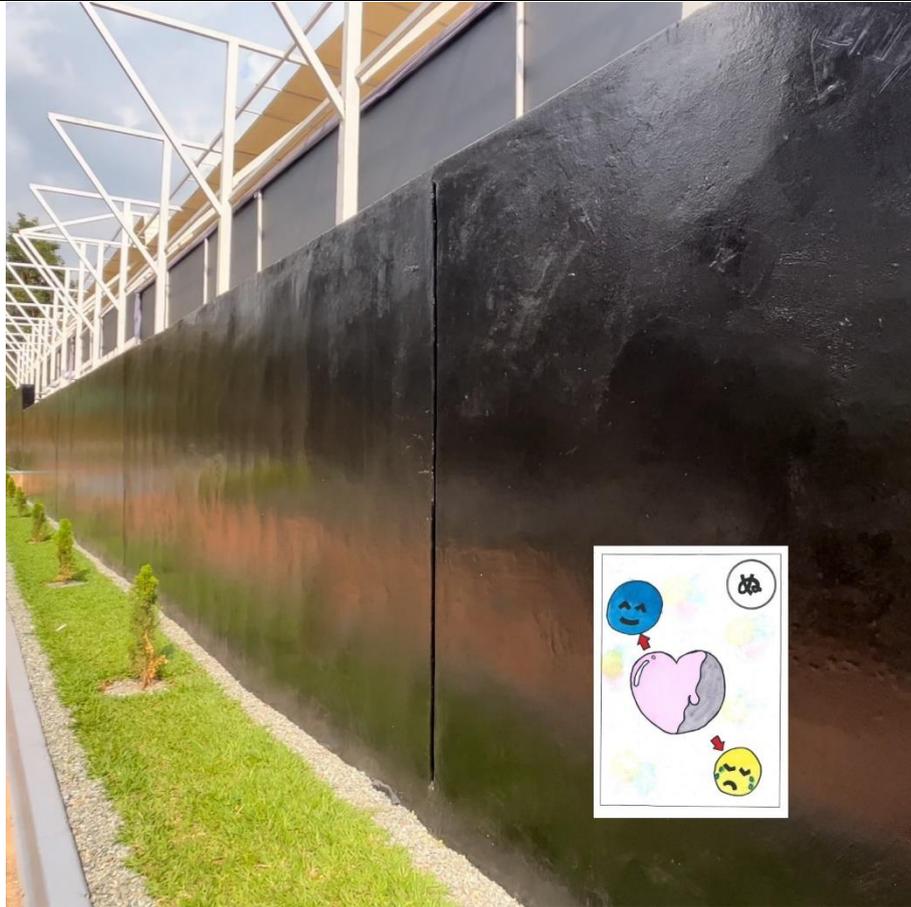
「お」の薪、「つ」の大鍋は、このようにして使われているのです。

ガスの料金がなくて買えない、だからコンロが普及していないルワンダでは、家庭でも薪や炭を使って、このように調理されています。「二酸化炭素を出さない」方法は、国の実態に合わせて考えなくてははいけませんね。

日本では、どのくらいの二酸化炭素が出ているのでしょうか。その出どころは？

# めりかえろ さべつなきとき いまこそだ

Change the world. You're the one who remove  
discrimination from this world.



この写真は、首都・キガリにあるジェノサイド・ミュージアムで撮影されました。ここには約26万人が眠っています。聞きなれない言葉ですが、「世界で一番有名なジェノサイドは、ナチスが行ったユダヤ人迫害です」というと、少しイメージがわくでしょうか。

2022年現在、「アフリカー安全な国(のひとつ)」といわれるルワンダですが、1994年4～7月、およそ100日間で80～100万人(当時の人口の約20パーセント)が虐殺(ジェノサイド)によって亡くなりました。植民地支配下で、特権を与えられていた少数派(ツチ族)に対する不満が高まっていたことが原因だといわれています。あまりに短期間に多くの人が亡くなったため、今でも「当時何が起こったのかは、誰にもわからない。」とされています。

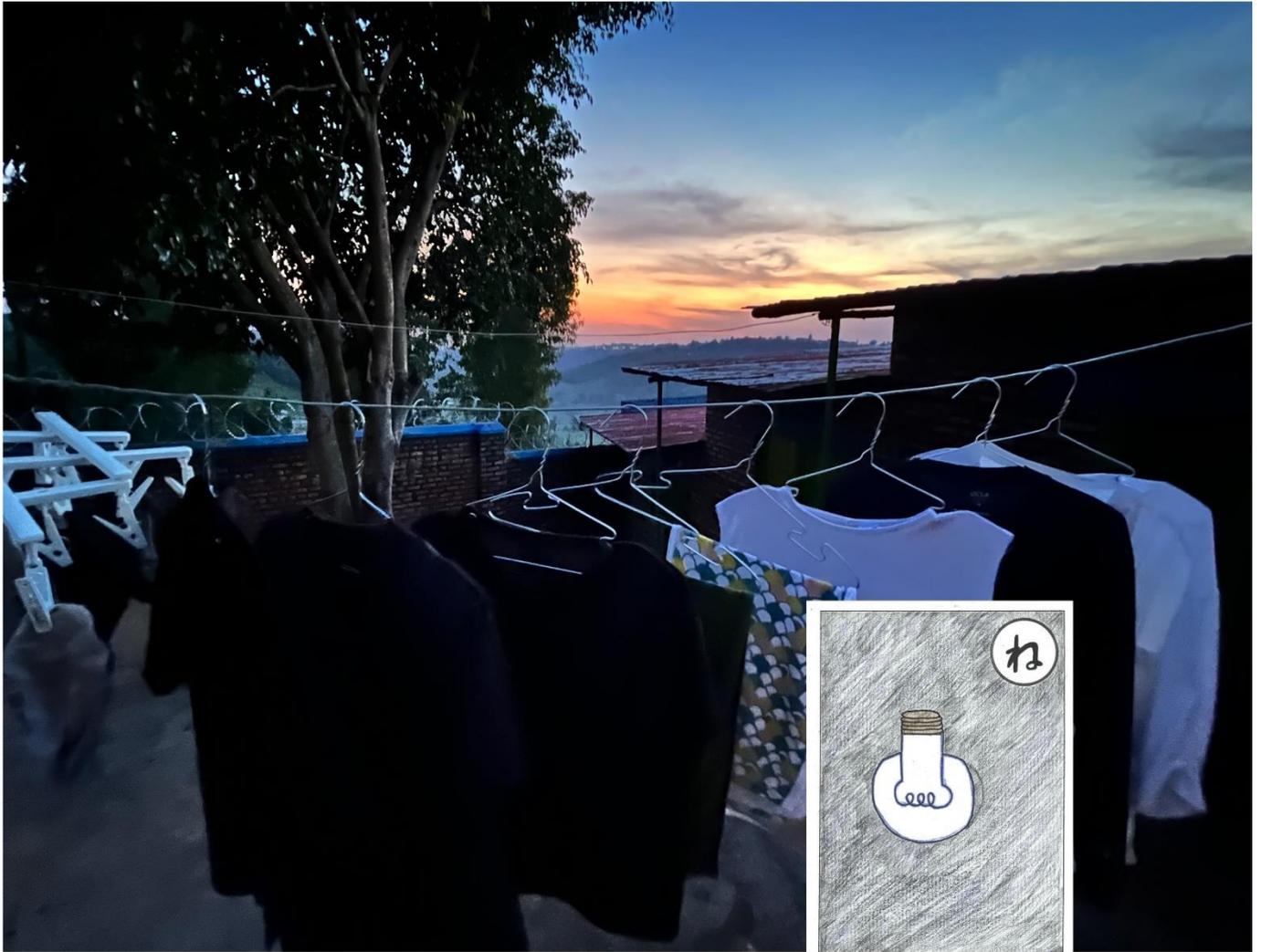
このミュージアムの目的は4つ。①教育目的、②記録媒体、③世界からジェノサイドをなくす、④遺族にとっての霊園。「誰がいつどこで亡くなったのか分からない」、「見つかった遺骨は誰のものなのか分からない」、「一家全員が襲われ、遺族すらいない」、私にとっての当たり前・お墓参りができない人がたくさんいるのだと、胸が痛くなりました。この黒い板には、白文字で亡くなった方の名前が書かれており(個人情報保護のため割愛)、毎年新しく名前が刻まれています。まだ名前を書かれていない人が、この板の分だけいるのです。「完成するまで書き続ける」そうです。

ひとたび争いが起こると「一人の命が軽くなる」と言います。

この黒い板は、あなたに何を語りかけますか。(私は、沖縄の「平和の礎」を思い出しました。)

# ねるときは でんきをけして せつでんだ

When you sleep, turn off the light.



この写真は、私の家の庭を撮影したものです。

週のうちの半分は計画的に断水する地域（停電はたまに）に住んでいるので、家に洗濯機はありません。自分の使った分だけ、服やタオルを手洗いしています。

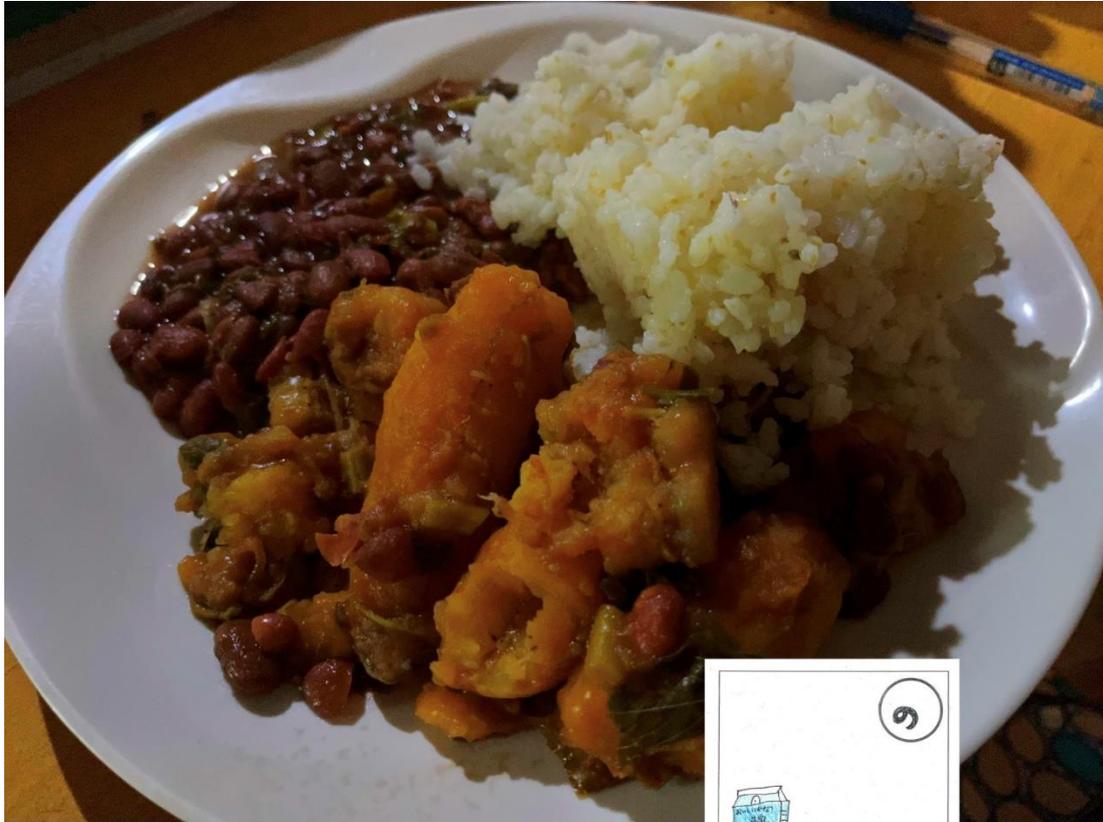
初めてバスタオルは洗ったときは、水を吸うとこんなに重くなるのかと驚きました。

写真の奥に見えるのは、夕焼けです。太陽が沈むと、空には天の川がくっきりと見えます。赤道直下なので、見慣れない星座がたくさんあって、「これは何だろう？」と想像するのが、停電の夜の楽しみの一つです。

SDGsにつながる行動はたくさんあります。我慢するだけでは継続が大変です。楽しみながら、達成していきましょう！

## のこさずに たべられるぶんだけ つくろうね

Don't cook too much. How much is your "enough?"



この写真は、学校の給食を撮影したものです。職員室で撮影しました。

職員室には裸電球がひとつありますが、基本的に消灯しています。点いていたとしても、Ericが「SDGs!」と言って消してしまうので、暗い写真になっています。想像力を働かせて、見てくださいね。

ルワンダの料理は、地元でとれる食材をシンプルな味付けでいただきます。これは、先生用なので3種類盛られていますが、生徒用の給食は、このうちの1種類だけしか出ません。毎日同じメニューが続きます。

左上は、イビシンゴと呼ばれる豆です。味と触感から察するに、日本の金時豆と同じだと思います。味付けは塩です。

その右側にあるのが、ウムチェリ(お米のこと)です。ルワンダは、お米の生産が盛んで、水田がたくさんあります。

手前は、イビトーチと呼ばれる、甘くないバナナです。味付けは、もちろん塩です。

みなさんが食べている給食は、栄養士さんが栄養バランスと予算を考えながら、同じメニューが続かないように工夫してくださっています。そして農家の皆さんが育てた食材を、ドライバーさんが新鮮な状態で運び、給食調理員さんが味付け・衛生面に十分に気を配って、作られています。当たり前に見えるけれど、日本の給食ってすごいんですよ！  
たくさん食べて、たくさん勉強して、大人への階段を一段一段上っていきましょう！

ほらいっぱい 食べられないひとも いるんだよ

There are the hungry around the world.



この写真は、生徒が使っているペンを撮影したものです。おなかがすいているのか、このキャップやペン先をかじっている生徒をよく見かけます。教室の床には、歯型がついてボロボロになったキャップが拾っても拾っても落ちています。

筆箱を持っている生徒はあまりいません。ポケットにこの青いボールペンを一本だけ入れて、登校しています。赤色のペンや定規を持っている生徒がいたり、コンパスや三角定規が入った「数学セット」を持っていたりする生徒もいますが、数は多くありません。

文房具を買うお金がないのか、そもそも売られている文房具の選択肢が少ないのか、現在調査中です。

(学校の先生にシャーペンを貸した時に「これは何？鉛筆？」と聞かれたことがあります。売られていないのかも。)

あなたが使っている筆箱の中身と比べてみよう。

# ひるまはね でんきなくても あかるいよ

Under the sun, it's bright enough.

From the morning to the evening, you don't need the electric lights.



この写真は、公立の中・高等学校の理科室で撮影されたものです。この理科室には、電球がありません。

写っているのは、S6(高校3年生)の男子生徒です。彼らは、放課後に「スキル・アカデミー(観察や実験の仕方を自主的に学習しているグループ)」のリーダーをしています。次回からは、彼らが先生役になり、他の生徒に教えます。

この日のテーマは、「顕微鏡を正しく使おう」。

校庭のコケを採取し、プレパラートをつくって、1分以内にピントを合わせられるようにトレーニングをしていました。

# ふーどろす へらせばたすかる ひとがいる

Reduce FOOD-LOSS, save someone's life.



ご覧の通り、これはパイナップルの皮です。

ルワンダに来て初めて、パイナップルを丸ごと買いました。「缶詰パイナップル」とほぼ同じ甘さで、とてもおいしいです。でも、こんなに捨てる部分（皮）があるのだな、とびっくりしました。今は、皮を庭の土に混ぜて肥料にしていますが、もったいなく感じています。この皮からパイナップルジュースが作れないか考えています。

<豆知識>ルワンダでは、パイナップルやマンゴー、そしてアボカドがたくさんとれます。

🍍 パイナップル400フラン、🥭 マンゴー500フラン、🥑 アボカド100フラン（100フランは、約13円）

宮崎県の某ブランド・マンゴーの値段を伝えても、なかなか信じてもらえません。

# へいわがね せかいでいちばん たいせつだ

Peace is the most important.



この写真は、首都・キガリにあるベルギー平和維持軍祈念館 (Belgium Peacekeepers Memorial) で撮影されました。この建物はもともと軍事キャンプでしたが、1994年4月6日に、ベルギー兵士10人が、犠牲となった場所でもあります。彼らは、国連の平和維持活動で、ルワンダの首相を護衛していました。

1994年4月6日(同日)にジェノサイドが始まりました。(「ぬ」とあわせて読むと、より理解が深まります。)

発端は、ブルンジとルワンダの大統領を乗せた飛行機が事故にあったことです。国の重要人物を故意に狙ったのではないかと疑われ、襲われるようになりました。これが約100日間続きました。ジェノサイドです。一つひとつの銃痕が、「命を奪おう」とする意思が当時どれほど強烈だったかを、語りかけてきます。

ぽいすてはだめ よびかけまえに まずじぶんから

Don't throw away on the road.

You're the first person to start.



この写真は、道端に落ちていた「あるもの」を撮影したものです。何でしょうか。

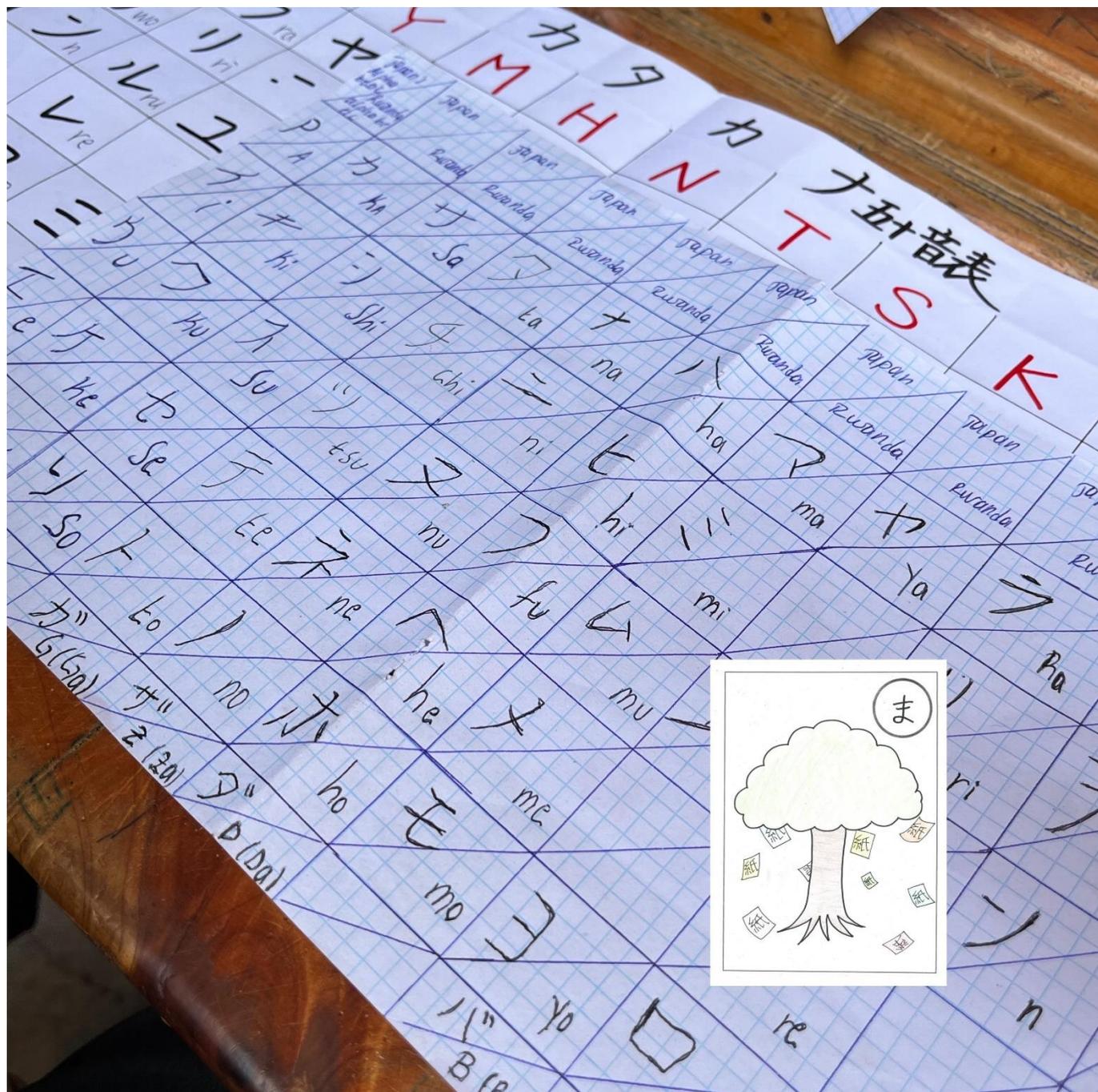
これは、バナナの葉っぱを丸めたもので、頭に載せて使います。TVなどで、頭の上に荷物を載せて運ぶ人を見たことはありませんか。ルワンダに来るまでは、頭に直接荷物を載せていると思っていましたが、どうやら「クッション」があったようです。(バナナの葉以外にも、キテンゲをまいたり、ニット帽をかぶったり、いろいろな工夫をしています。)

ポイ捨てはいけないけど、「自然に還るし、まあいっか〜」と思ってしまうルワンダ人のおおらかさを感じる一枚です。

まいにちね かみはつかうよ たいせつに

Papers are made of woods.

Save papers, save trees.



この写真は、S2 (中学2年生) の男の子が書いた五十音表です。ノートを1ページ破って、作りました。

私が学校に赴任して3週間。「日本語であいさつを教えて!」「日本の歌を歌って!」「国歌はどんな歌?」と、質問攻めの毎日です。この男子生徒は「日本語の勉強がしたい!」と言っていたので、五十音表を手書きして、読み方を教えていました。しかし、学校の休み時間は20分休みと10分休みが1回ずつあるだけ。途中で時間切れになってしまいます。すると、次の日に「写させて! 枠を作ってきたから、短い休み時間でも、全部写せると思う。」と、この紙を持ってやってきたのです。

「ないなら、作る!」「ほしいなら、自分で!」同級生よりも小柄な彼の中に、たくましさを感じた一日でした。

みずでんき つかいすぎには ごちゅういを

Water and electricity are LIMITED.



この写真は、ルワンダの公共水栓を撮影したものです。この施設は、至る所に設置されています。

ルワンダの水は、この「WASAC (ワサック / Water Sanitation Corporation)」が一手に引き受けています。ふたつの蛇口がついているのがわかりますか？この下にジェリカンを置き、水を汲みます (有料)。水が配給される時間は決まっており、定刻に蛇口の上にある扉が開き、担当の人が仕事を始めます。

仕事へ行く前の朝、そして仕事が終わった後の夕方、WASACの前にはたくさんの人が集まります。水をくむだけでなく、近所の人と会話を楽しむことができる、憩いの場にもなっています。

日本にも「井戸端会議」という言葉がありますね。

むだなみず つかわないなら とめようよ

Don't waste water.



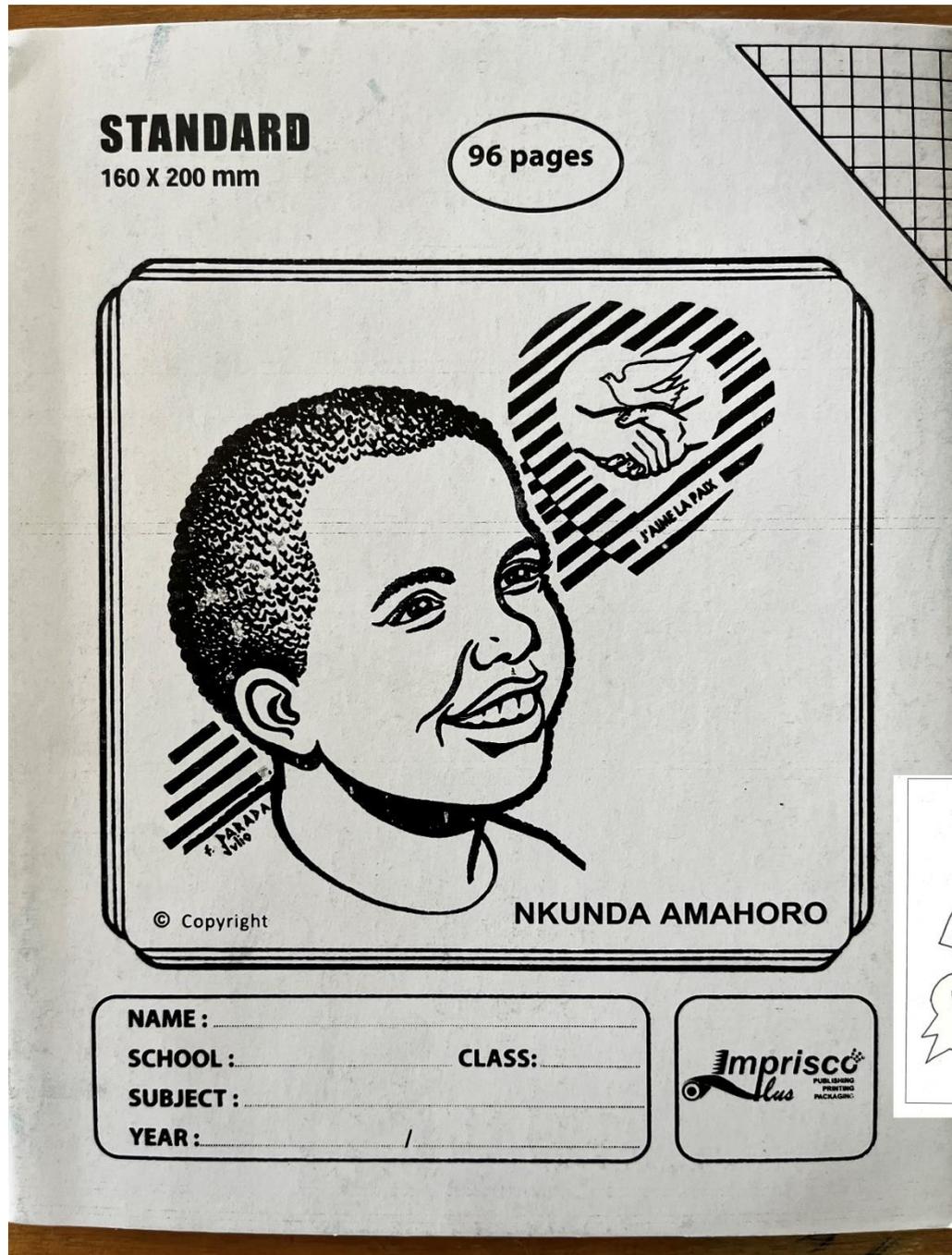
この写真は、学校の校庭で撮影されました。ペダル式の蛇口です。

茶色に見えるのは、土の色。ルワンダの土は赤茶色です。もろく崩れやすいため、目が細かく、ぬれているところに、このように貼りついてしまいます。

左側にあるタンクに水を入れ、黒いペダルを踏むと、踏んでいる間だけ水が出る仕組みになっています。電気を使わず人力で、必要な分だけ水が出るこの蛇口。よく考えられているなあ、と感心しながら使っています。

# めもようし おもてにかけば つぎはうら

You can use a piece of paper both sides.



この写真は、ルワンダのだれもが知っているノートを撮影したものです。

ルワンダでは、ノートはA5サイズが主流です。すべてのページが、右上に見られるような方眼になっています。このノートに、青いボールペンで書いていきます。

子どもの右下に「NKUNDA AMAHORU」と書かれています。「I LOVE PEACE (私は平和を愛します)」という意味です。1994年のジェノサイドが終わり、ルワンダは「生き残った人」の国となりました。壮絶な約100日間を生き延び、家族を失った人、友人を亡くした人、命を奪った人、、、被害者と加害者が複雑に入り混じる複雑な社会になったのです。発端となった「部族間の差別」をなくすために、さまざまな取り組みが行われました。未来を担う子どもの笑顔、2人の人が手を取り合う、平和の象徴のハト、一つ一つのデザインに新しい国づくりへの思いが表れています。

# もやさない にさんかたんそ ふえてるよ

To burn is to increase CO<sub>2</sub>.



この写真は、町を歩いているときに、民家を外側から撮影したものです。画面中央に、白い煙がのぼっている様子が分かるでしょうか。

ルワンダでは、夕方になると、あちこちの家から、このような煙がのぼります。夕飯の支度をしているのでしょう。

日本でできる「燃やさない」、ルワンダでできる「二酸化炭素」の削減。

それぞれの場所で、できることがちがうようです。

日本でできることは何だろう。日本だからこそできることは何だろう。

## やってみよう ごみにするなら りさいくる

Let's classify the trash. It's the first step of recycling.



この写真は、学校の校庭にある手洗い場で撮影しました。ペットボトルをリサイクルして使っています。一体、何に使っているのでしょうか。

### 【答え】

ハンドソープ入れ

キャップに小さな穴がいくつか開いています。キャップを下に傾け、ペットボトルをへこませると、押した分だけシャワーのようにハンドソープが出てきます。最後の一滴まで使うことができます。

ペットボトルに、こんな使い方があったとは！

# ゆうはんの のこしたごはん なんのため？

Why don't you eat all?



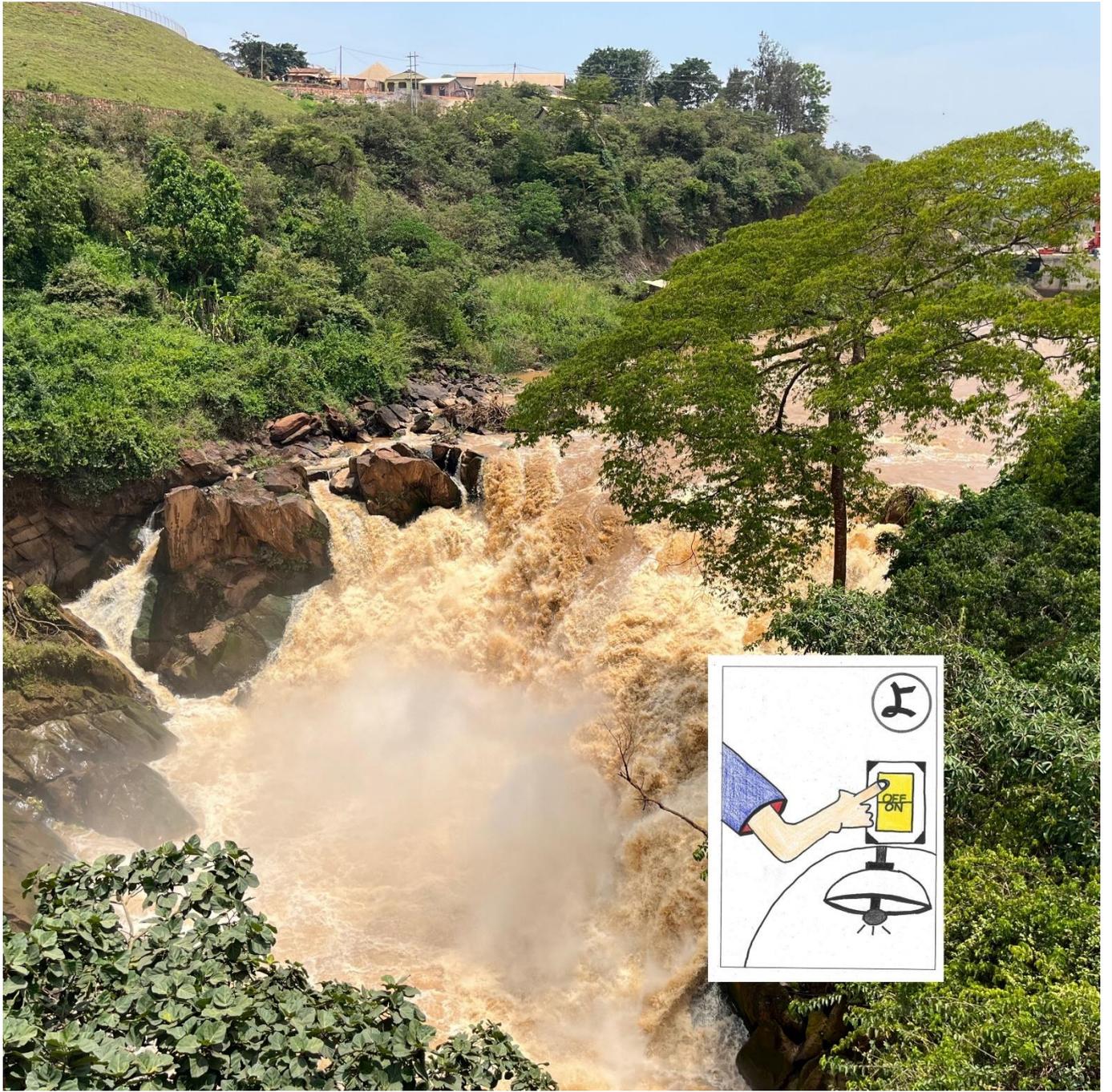
この写真は、校庭で育てているイビトーチ（甘くないバナナ）を撮影したものです。

学校の校舎よりも、はるかに広い面積に畑が広がっています。イビトーチ、イミネチェ（日本でいうバナナ・甘い）、アボカド、野菜などを育てています。全校生徒が「農業」の科目を履修しています。

学校には寮があり、およそ7割の生徒がそこで暮らしています。朝ごはんはイチャイ（砂糖たっぷりのお茶）、14時に給食、20時に夕食を食べます。授業で育てた食材を、その日に穫れた分だけいただきます（冷蔵庫がないので、保存することができません）。学校の中で、「地産地消」のサイクルが回っています。

ようのない へやのでんきは けしましょう

When you don't need, let's turn off the light.



この写真は、ルワンダの南・タンザニアとの国境で撮影されました。「ルスモの滝」と言います。

この滝には、水力発電施設があり、水が落下するエネルギーを利用して、発電をしています。水を動力としているので、電力の供給は不安定です。

撮影した日は、その前日・前々日が大雨だったため、勢いよく水が流れていました。

限られた電力をうまく使うために、計画的に停電することもあります。

# らっしゅをさけて じてんしゃで

In the rush hour, bicycles are better.



この写真は、自転車タクシーを撮影したものです。

首都・キガリでは市内バスやタクシー（車・バイク）数多く走っています。地方では、車のタクシーは珍しく、その代わりバイクタクシーや自転車タクシーが主流になります。

日本では、自転車の二人乗りは禁止されているので、初めて見た時は驚きました。ハンドルに花をつけてデコレーションしたり、お役さんの座り心地が良いように荷台にクッションを取り付けていたり、自転車ごとのちがいをみるのも楽しいですよ。

# りも一とで えあこんよりも それがいい

You can choose the place for work and study.

Keep sitting in the office with air conditioners or not!



この写真は、私の勤務する学校の前の道です。

雨上がりは、大きな水たまりができます。土の目が細かいので、沈殿して澄み切る前に、水が乾いてしまいます。

(自転車は押さないと上がれないほど) 急な上り坂・未舗装を徒歩で30分かけて、通勤しています。同僚からは、「家が近くていいね!」と言われます。同僚や生徒は、もっと遠いところから毎日通っているのです。

ルワンダで暮らす人たちが、家の近くで働き、収入を得ることができれば、生活はもっと楽になるだろうに、と考えずにはられません。

# るいろいろの ちきゅうを まもろう

The earth is a planet of BLUE.

Keep the water clean to keep the beautiful blue.



これは、ルワンダの国旗です。見たことがある人はいますか。

アフリカには50以上の国がありますが、国旗に「赤」が使われているイメージをもっている人が多いかもしれません。ルワンダの旧国旗も、赤、黄、緑の三色が使用されていました。しかし、その国旗がジェノサイド当時に使われていたこと、赤が流血を連想させることから、赤を使わなくなったといわれています。

2001年に制定されたこの国旗は、青が「青空と希望」を、黄色は「平和と協調」を、緑は「豊かな農業と繁栄」を、右上の輝く太陽は「国民の団結と未来への明るい展望」を表しています。

# れじぶくろ ことわることで りさいくる

Not to use plastic bags, you can join the Recycling.



この写真は、スーパーのレジで撮影されました。

日本では、2020年7月1日から始まったレジ袋の有料化。ルワンダでは2008年からレジ袋を「禁止」しています。また、空港には監視員がおり、海外からプラスチックが持ち込まれることがないように検閲をしています。

なぜ、そこまで？

ルワンダは、中央アフリカでもっとも人口密度が高い国の一つですが、動物も多いのです。国土の8.9%を国立公園に指定しており、ビッグ5（ライオンやヒョウ、ゾウ、サイ、バッファロー）のほかに、マウンテンゴリラやハシビロコウ、ブルーモンキーなども見ることができる自然が豊かな国です。また、ビニール袋が川をせき止め洪水の原因になった、との報告もあったそうです。人が生きるため、動物が生きるため、自然を守るため、いろいろな理由があるんですね。

# ろうどうを こどもがせおって いませんか

Children should learn, shouldn't work.



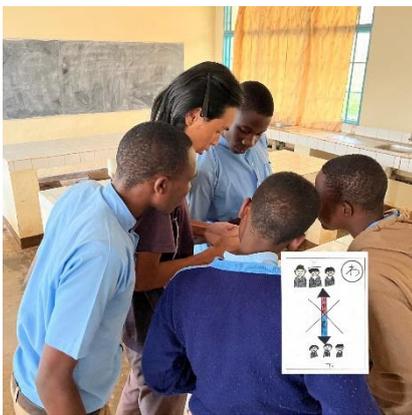
この写真は、とある日曜日の朝、道端で撮影しました（本人の許可を得ています）。

この白い袋の中には、鉄の塊がたくさん入っていました。大きい鉄板から、小さいものではガラス瓶についている栓まで。軽々と運んでいましたが、相当重いと思います。背負い慣れているのかもしれませんが。

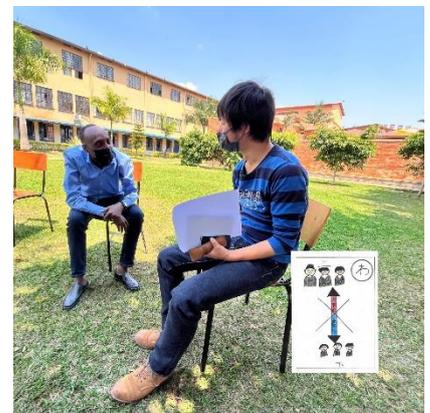
「この鉄をどこへもっていくの?」「明日は学校へ行くの?」「兄弟は何人?」「日曜日は、教会へ行く人が多いけど、あなたは行かないの?」聞きたいことがたくさんあったけれど、キニヤルワンダ語しか話せない彼と、英語と少しのキニヤルワンダ語しか話せない私では、そこまでの会話ができませんでした。また会いたい子どもの一人です。

# わかりあう ひとにじょうげは ないとする

Share ideas and understand each other. It's the first step for the EQUATION.



ここは、あなたのスペース。  
どんなコマを入れますか。



この写真は、JICA 海外協力隊のルワンダ隊員の様子を撮影したものです。左上から時計回りに紹介していきます。  
私と同僚の先生。「あなたの髪って素敵!」と言って、週明けの月曜日、そっくりの髪型に変身していました。  
職業訓練校の先生・Gerio (ジェリオ)。将来の夢は、自分のホテルをもつことです。「世界のお客さんを相手にするんだから、SDGsについて勉強しなきゃ!」と言って、喜んでカルタを見てくれました。

キニヤルワンダ語の語学訓練中の一コマ。みんなで一つの写真をのぞき込んでいます。何を見ているのかな。  
私と同僚の先生・パート2。教科書は学校に1冊しかないのので、データで見せてもらいました。パソコンも1台です。  
語学訓練中の一コマ・パート2。何やら真剣に話している様子。英語とキニヤルワンダ語が飛び交います。  
海外協力隊員と近所の子どもたち。めったに見ない外国人にドキドキ。挨拶をして、すぐ仲良くなっていました。  
「弓道って何?」と質問され、教えた後の一枚。右の先生は、落ちていた枝とヒモで弓矢をつくってしまいました。  
S6 (高校3年生) の生徒に、顕微鏡の使い方を教える海外協力隊 (理科隊員) この講義は希望者制です。この4人の生徒がリーダーとなり、他の生徒よりも先に使い方を習得し、生徒同士で教え合いができる土台を作っています。  
肌の色、髪の毛、考え方、知っていること、話す言葉、何もかもがちがうけど、伝わるものがきっとあります。

